

# 世界最速ギネス認定

## 下地島 ソーラーカー 88キロ超

【宮古島】自動車のダカール・ラリーで1997年に日本人として初めて総合優勝した篠塚建次郎さん(65)のチームが22日、再び宮古島市の下地島空港で滑走路と誘導路をソーラーカーで走り、ギネス世界最速記録を超える時速88・891キロを達成し、即日ギネス記録に認定された。篠塚さんは「ハラハラドキドキしたが、クリアできて良かった」と笑顔で語った。



ギネス認定員から認定証を受け取る篠塚建次郎さん(右)22日、宮古島市の下地島空港

### 篠塚さん「ドキドキした」

この日の下地島空港は風が弱かったものの、南の空に厚い雲がかかった天気です。挑戦中も度々雲が太陽を覆った。20日に達成した時速91・332キロには及ばなかったものの、オーストラリアのチームが2011年に出した時速88・738キロを0・153キロ上回った。同日訪れたギネス認定員により、ソーラーカーによるギネス世界最速記録として認定された。

今後は20日に時速91・332キロを記録した際の映像など証拠資料を基にギネス側に最速記録を申請する。認められれば、自身が22日に出した記録を上回って登録される。ギネスによると、宮古島のギネス世界記録は初めてという。

篠塚さんは「役所をはじめ、多くの人の協力のおかげ」と感謝。「あしたから世界中がこの記録に挑戦し

てくるだろう。やりがいがある。多くの人に挑戦してほしい」と期待を込めた。

環境ア 慶ア 境問 ア ムが 19日